

事業名

自然豊かな地区を活かした事業

P

●事業実施に至った背景、目的

少子高齢化の中、この地区の特色である自然と郷土の良さを伝えるふるさと学習に取り組んでいる。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

まちづくりセンター運営推進委員の方々に年間の行事について意見聴取し協力して頂く。協力団体にも協力を仰ぎ行う。

「自然を楽しもう」・・・小国地区住民に呼びかけセンター行事として開催

「ふるさと地域学習」・・・金城中学校、てこの里おぐに、最中山神社、藤若農産、桑田岩石園

「共育事業」・・・おぐに保育園、雲城小学校、金城中学校、食改、てこの里おぐに

「おぐにふるさと学校」・・・センター運営推進委員会、アスレチックきんたなど

D

●事業の概要

- ・「ふるさと地域学習」では、センターが連絡場所になり、見学場所では地区の協力者の方々に説明をしてもらう。
- ・「共育事業」では、学校とセンター、地区の住民の方々（団体）で活動を行なっている。
- ・「おぐにふるさと学校」はセンター運営推進委員会で企画、運営。地区の方々、地区外の団体（アスレチックきんた）にも協力していただき活動している。

C

●事業実施後の振り返り

- ・恒例の事業となっている「おぐにふるさと学校」など、小国ならではの取り組みをして、募集人員を上回るほどの参加希望があり、毎年喜ばれている。
- ・住民の高齢化のためどのように、今後続けていくか考えていく。

A

●令和7年度以降の方向性

恒例となっている事業については、振り返り内容を参考に、地域の規模に応じた内容に見直して実施する。

あいのりタクシーの利用促進を計るため、まちづくり委員会や来館者を通じて周知する。



おぐにふるさと学校